

ママと子どもの
言葉の力を育む講座

②

Language Training for
Mom and children

講師 Mariko

2. コミュニケーション意欲を育む

前月の課題

言葉について考える Thinking about language

- ・ **自分がどんなふう言葉を使ってきたか** How did you use words?
- ・ 自分がどんなふう言葉を使っていきたいか How do you want to use words.
- ・ 子どもにどんなふう言葉を使ってほしいか How do you want your child to use words?

自分の言葉のクセを見つける

親の言葉がそのまま子どもの言葉として継承されていく
子どもの言語の脳は世界脳、日本の文化はまだ染み付いていない

自分のことを客観的に見る習慣をつけましょう！



メタ認知

今月の課題 問う力を養う

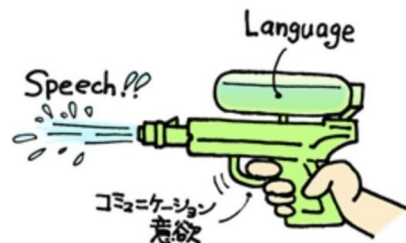
なにかをするときに理由をつける習慣を身につけましょう

ex.今日の服はズボンにする。なぜかというと公園に行くため動きやすい服がよいから。

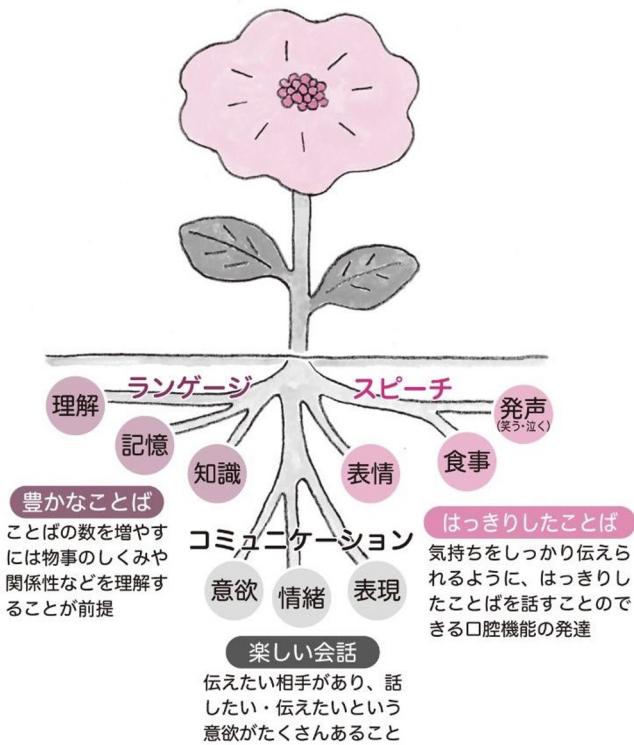
ex.今日のご飯はカレーにする。なぜかというと玉ねぎとじゃがいもがあるから

ex.今日は駅前のスーパーに行く。なぜかというとお肉が安いとチラシが入っていたから

言語の表出のためには



1. わかることば（概念・思考） language
2. コミュニケーション意欲（相手に伝えたいと思う気持ち）
3. 声に出すことば（表出言語） speech



引用文献：中川信子著「子どものこころとことばの育ち」
「生まれたときからことばを育てる暮らしから」

・スピーチ

表情豊かに育つためにはたくさんの表情を見せることが大切。
大人がマスクで表情を見せないことが危険！

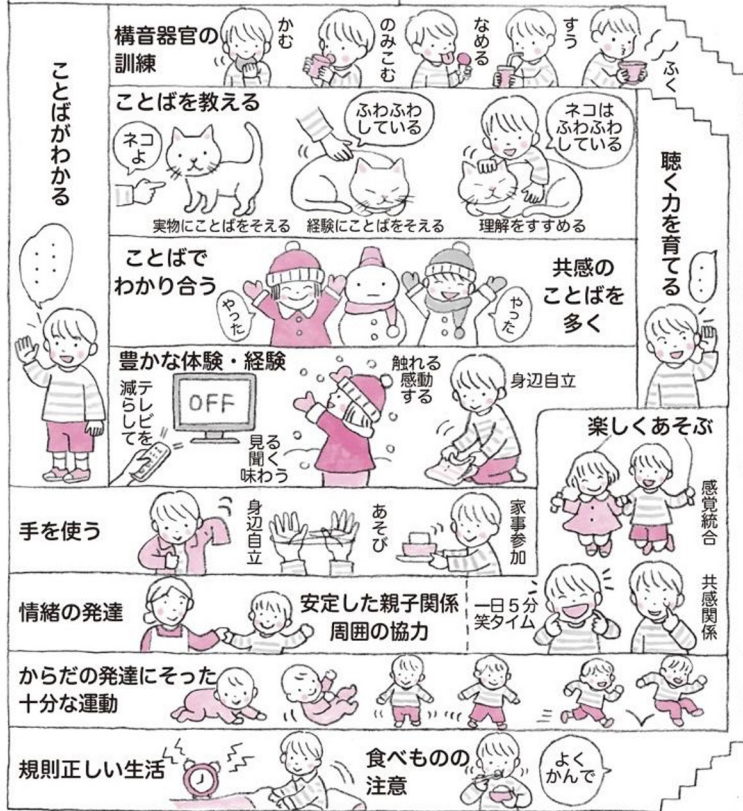
・ランゲージ

理解するためには体験が不可欠！
五感を使う体験遊びに言葉をいれる！

・コミュニケーション

言葉を伝える先には相手がいるということ。
信頼関係を築き、話せる安心な場を提供してあげる。

ことば



脳の積み上げ構造

脳の構造は「3つ重ねの鏡餅」

大脳皮質（ことば）

大脳辺縁系（こころの脳）

脳幹（からだの脳）

お子様とコミュニケーション意欲を育むためにママができること

考えてみましょう！

お子様とコミュニケーション意欲を育むためにママができること

目を合わせてお話す（手をとめて聞く体勢をとる）

子どもの声を待つ（代弁しない）

気持ちを聞きたい、聞けて嬉しいことを伝える

ママ以外とコミュニケーションを取ったときもその喜びを伝える

ママも同じように体験して一緒に体験を味わう

スキンシップをたくさんとる

子どもの目線、視点に合わせる

スピーチを促す遊び

吹く楽器 ふえ、ラッパ、ピアニカ、

ストローでピンポン玉転がし

吹き戻し

お皿のうえの紙吹雪を飛ばす

傘袋をストローでふくらます (おばけ、ロケット)

散歩のすすめ

① 100%気持ちを子どもに向けれる

→写真をとる以外携帯はオフ

② 選択肢を子どもに与えられる（子ども主導）

→行き先を子どもに決めさせる

③ 自然に五感を傾ける（空、鳥、虫、植物、風、影、月） 自然は言葉の宝庫

→ママが言葉にする癖がつく

④ 遠くを見ることで目を休める



お手伝いのすすめ

- ①コミュニケーションの時間が増える
- ②ほんものに触ることで五感を刺激
- ③ママの褒める言葉が増えて自信につながる
- ④手先や体の訓練となる（洗濯バサミ、ぞうきんしぼり、ぞうきんがけ）



スーパーマーケットはほんもの教材の宝庫！

お店は知らない人とコミュニケーションをとるチャンス

今月の体験遊び

9月 秋のはじまりです。特別な体験をたくさんしてくださいね

- ・ お月見（すすき、お団子、うさぎ、お月様、満月、十五夜）
- ・ 秋の虫（すずむし、こおろぎ、くつわむし、マツムシ）是非おうちに連れて帰ってみてください
- ・ 敬老の日（おじいちゃん、おばあちゃん、ありがとう）

今月の絵本



今月のリトミック

9月の歌

『大きな栗の木の下で』

<https://youtu.be/Oj1Lm50541U>